

水産業

「牡蠣業界の課題を解決し、持続可能な産業へ」

活動の経緯

令和3年度より、過酷な労働であるが薄利な業界、後継者不足、広告宣伝のための時間と予算不足の問題を抱えている牡蠣業界に対し、牡蠣漁師が稼げて憧れられるような職業に変えるための問題解決に取り組む。

活動の概要

全国に及ぶ「牡蠣若手の会」を主体に全国の若手牡蠣漁師間の意見交換、NFT（非代替性トークン）を活用した牡蠣の消費拡大に向けた活動及びイベント開催などに取り組む。



「牡蠣若手の会」NFT イベント風景



「牡蠣若手の会」意見交換

活動の成果、主な実績等

ONFT を活用した活動では、「牡蠣若手の会」のEC サイトでの5%オフ販売を行い令和4年度の売上は400万円となっている。

○このほか、ふるさと納税や牡蠣の養殖カゴのオーナー制度に取り組み始めた。

○これらの取組や牡蠣の試食会などのイベント開催を通じて消費者に牡蠣の産地毎に異なる美味しさを知っていただいた。

○一方、「牡蠣若手の会」では定期的にお互いの産地を訪問し、お互いの知識を交換することで、牡蠣生産の技術向上に繋げている。